

- 問1 司法制度改革の一環として導入された裁判員制度について、実際に裁判に参加した市民の意識の変化を説明したものとして適切な記述はどれですか。参加前後の統計的な傾向を踏まえて答えなさい。（2022年 大分県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 重大な刑事事件だけでなく民事事件の審理にも参加するため、法律の専門知識が求められる負担から、参加前後に関わらず「自分には不向きだ」という意見が常に一定数存在する。 | 2. 参加前は約6割が「やりたくなかった」などの消極的な意識を持っているが、実際に経験した後は、9割以上の人が「非常によい経験」や「よい経験」だったと肯定的な意見を持つようになる。 | 3. 参加前は社会貢献への意欲から多くの人が積極的だが、実際の審理では遺体写真などの証拠を見る心理的負担が大きいため、参加後には否定的な意見が過半数に達する。 | 4. 裁判員としての出席率は年々低下しており、その主な理由は、参加後のアンケートにおいて「判決を下す責任が重すぎた」という否定的な感想が8割を超えていることにある。 |
|--|--|---|--|
- 問2 日本の政治制度において、衆議院が解散され、衆議院議員総選挙が行われた日から30日以内に召集される国会を何と呼びますか。2017年の事例では、10月22日の総選挙のあと、11月1日に召集されています。（2022年 福岡県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------------|--------------|-------------|--------------|
| 1. 常会（通常国会） | 2. 特別会（特別国会） | 3. 参議院の緊急集会 | 4. 臨時会（臨時国会） |
|-------------|--------------|-------------|--------------|
- 問3 日本の国会には、裁判官としてふさわしくない行為があったとされる裁判官を罷免（辞めさせること）するかどうかを判断する機関が設置されています。この機関の名称として正しいものはどれですか。（2023年 岡山県公立入試 類似）
- | | | | |
|----------|----------|----------|------------|
| 1. 弾劾裁判所 | 2. 検察審査会 | 3. 最高裁判所 | 4. 行政不服審査会 |
|----------|----------|----------|------------|
- 問4 日本の司法制度において、裁判を慎重に行うことで判決の誤りを防ぎ、人権を保障するために、一つの事件について原則として3回まで裁判を受けることができる仕組みを何といいますか。（2025年 奈良県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------|--------|----------|--------|
| 1. 二審制 | 2. 陪審制 | 3. 裁判員制度 | 4. 三審制 |
|--------|--------|----------|--------|
- 問5 日本国憲法において「衆議院の優越」が認められている理由として、最も適切な説明はどれですか。（2022年 新潟県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 衆議院は参議院よりも議員定数が多く、日本全国の都道府県から均等に議員が選出されているから | 2. 衆議院は内閣総理大臣が直接任命する議員によって構成されており、政府との連携が重視されるから | 3. 衆議院は参議院よりも任期が短く、解散があるため、より国民の意志を反映しやすいと考えられているから | 4. 衆議院議員は、参議院議員に比べて被選挙権が得られる年齢が低く設定されており、若者の意見を代表しているから |
|---|--|---|---|
- 問6 日本の政治制度において、内閣を構成する内閣総理大臣と国務大臣が、行政権の行使について国会に対して負っている関係性を説明したものととして、最も適切なものはどれですか。（2020年 群馬県公立入試 類似）
- | | | | |
|-----------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|
| 1. 内閣総理大臣のみが責任を負い、他の国務大臣は責任を負わない。 | 2. 内閣は、裁判所に対してのみ行政権の行使に関する責任を負う。 | 3. 内閣は、国会から完全に独立しており、一切の責任を負わない。 | 4. 内閣は、行政権の行使について国会に対し連帯して責任を負う。 |
|-----------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|
- 問7 日本の国会において、衆議院は参議院に対して優越した権限が認められています。衆議院にこのような強い権限が与えられている理由として、制度上の特徴を踏まえた最も適切な説明を選んでください。（2025年 島根県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 衆議院議員は参議院議員に比べて定数が多く、一人あたりの得票数が多いため、民意の代表としてふさわしいから | 2. 参議院には内閣総理大臣を指名する権限や予算を審議する権限が全く与えられていないから | 3. 参議院よりも任期が短く、さらに解散があるため、選挙を通じて国民の意思をより敏感に反映できるから | 4. 不逮捕特権や免責特権が衆議院議員のみに認められており、より自由で活発な議論が期待されているから |
|--|--|--|--|
- 問8 2009年から導入された、有権者からランダムに選ばれた一般の国民が、第一審の重大な刑事裁判に参加し、被告人の有罪・無罪や刑罰の内容を裁判官と決定する日本の制度を何といいますか。（2025年 岩手県公立入試 類似）
- | | | | |
|-----------|------------|----------|--------|
| 1. 行政訴訟制度 | 2. 検察審査会制度 | 3. 裁判員制度 | 4. 陪審制 |
|-----------|------------|----------|--------|
- 問9 近代民主政治において、国家権力の濫用を防ぎ、国民の権利を守るために取り入れられている「三権分立」の仕組みについて、その説明として最も適切なものはどれですか。（2017年 山口県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 立法権・行政権・司法権の三つの独立した機関が、互いに抑制し合い、均衡を保つことで権力の集中を防ぐ仕組み | 2. 国民の代表者が司法権のみを直接行使し、行政と立法の役割を監視することで民主主義を維持する仕組み | 3. 立法権・行政権・司法権の三つの機関が、それぞれの権限を一つの機関に集約して政治を安定させる仕組み | 4. 地方公共団体が持つ権限を国に委譲し、中央政府がすべての立法・行政・司法を一括して管理する仕組み |
|--|--|---|--|
- 問10 司法権による憲法保障の仕組みについて、司法が他の権力をチェックする機能としての説明で正しいものはどれですか。三権分立の観点から適切な記述を選びなさい。（2019年 島根県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 最高裁判所が、内閣の権限のみを制限するために行政処分の妥当性を審査する。 | 2. 国会が、裁判所の判決内容が不当でないかを審査し、必要に応じて判決を取り消す。 | 3. 裁判所が、国会が制定した法律や内閣の行政処分が憲法に違反していないかを審査する。 | 4. 内閣が、法律が憲法に違反しているかどうかを審査し、最終的な判断を決定する。 |
|---|---|---|--|
- 問11 国会の権限には、法律案の議決、予算の議決、条約の承認、内閣総理大臣の指名などがありますが、その中で衆議院のみに認められ、参議院には認められていない権限はどれですか。（2019年 鳥取県公立入試 類似）
- | | | | |
|----------|-------------|----------|-----------|
| 1. 国政調査権 | 2. 内閣不信任の決議 | 3. 条約の承認 | 4. 法律案の議決 |
|----------|-------------|----------|-----------|
- 問12 刑事裁判の法廷における座席の配置と、それぞれの役職の役割に関する記述として、正しい組み合わせはどれですか。（2021年 徳島県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 正面中央の高い位置に裁判官が座り、その直下の席では裁判の経過を記録する裁判所書記官が、裁判官から見て右側の席では被告人を支援する弁護人が業務を行う。 | 2. 法廷の中央に証言台があり、その右側に有罪か無罪かを決める弁護人が座り、左側に裁判官の補助を行う警察官が座って、互いに証拠を提示し合う。 | 3. 中央の高い位置に検察官が座って裁判を進行し、その下の席に裁判官が座り、裁判官から見て左側の席に裁判の内容を記録する司法書士が配置される。 | 4. 正面の最も高い位置に裁判所書記官が座り、その左右に裁判官と検察官が並んで座り、後方の傍聴席にいたる弁護人と議論を行う。 |
|---|--|---|--|
- 問13 日本の内閣が担う外交上の職務と、それに関連する制度の仕組みについての記述として正しいものはどれですか。（2021年 大阪府公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 外国との合意を正式に結ぶ条約の締結権は内閣にあるが、民主主義の観点から国会の承認が条件となっている。 | 2. 内閣は裁判官を罷免するための弾劾裁判所を設置し、その同意を得てから外国との条約締結に臨む。 | 3. 外交関係を処理する一環として条約を締結するが、その内容が憲法に適合するかどうかは国会ではなく内閣が最終決定する。 | 4. 条約の締結にあたっては、衆議院と参議院の意見が一致しない場合でも、常に参議院の議決が優先される仕組みがある。 |
|---|--|---|---|